

土砂災害から身を守るために

千葉市では令和元年10月25日の大雨により、これまで経験したことのない多数の土砂災害が発生しました。土砂災害は一瞬にして、尊い生命や家屋などの貴重な財産を奪うなど、甚大な被害をもたらします。

土砂災害に巻き込まれないためには、一人ひとりが土砂災害から身を守るように備えておくことが重要です。そのために知っておくべきポイントを紹介します。



令和元年10月25日大雨による被災現場（緑区越智町）

1. 気象情報や防災情報を入手する

①気象情報などの入手

◆NHKのデータ放送

チャンネルをNHKに合わせ、dボタンを押すと、気象情報のほか、避難指示などの災害時緊急情報が表示されます。



押すだけ簡単！
NHKデータ放送

②防災情報などの入手

◆ちばし安全・安心メール

避難指示などの緊急時情報をはじめ、防災・防犯情報をEメールで送信します。ぜひ、ご登録ください。登録は、「entry@chiba-an.jp」へ空メールを送信してください。

ちばし
安全・安心メール




◆千葉市防災ポータルサイト

河川水位情報、雨量情報などの情報を公開しています。

千葉市 防災ポータル 

◆Yahoo! 防災速報（アプリ）

避難指示などの緊急情報に加えて、地震・豪雨・津波などの情報を入手することができます。

Yahoo!防災速報 

Yahoo!防災速報



◆電話・FAXによる災害時緊急情報配信サービス

携帯電話による緊急情報の入手が困難な高齢者等や土砂災害警戒区域にお住いの方を対象に、固定電話やFAXによる災害時の緊急情報を配信しています。詳しくは、防災対策課（043-245-5113）にお問い合わせください。

千葉市 災害時緊急情報配信サービス 

◆コミュニティFM

避難指示などの緊急情報を、コミュニティFM「SKYWAVE FM」（89.2MHz）を通じて放送します。停電時にも使えるよう、ラジオ本体だけでなく電源（電池）も用意しておきましょう。

2. 警戒レベル4（避難指示）で全員避難！

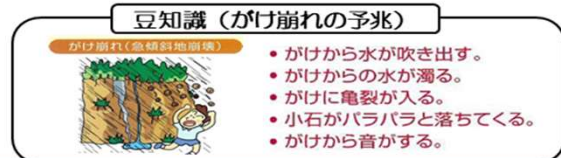
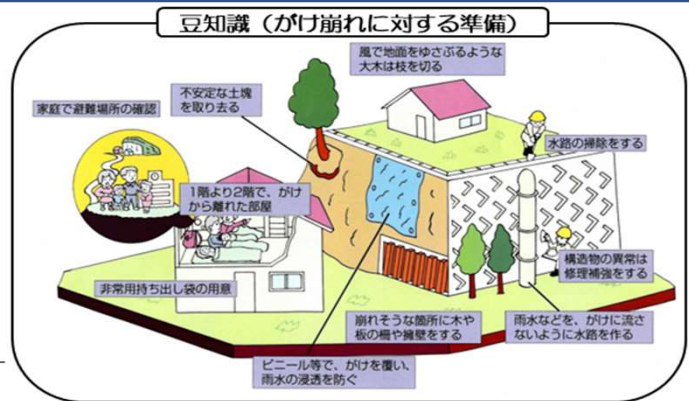
①複数の避難先、避難経路の確認

指定避難所に避難者が集中しないよう、**親戚や友人宅への避難や地域の町内自治会館への避難など、複数の避難先を事前に決めておきましょう。**

②避難が困難な場合は迂闊に外へ出ない。

屋外への避難が困難な場合は自宅に留まり、**崖から離れた部屋（できれば2階から上）へ避難**しましょう。

停電になってもあわてないよう、懐中電灯や電池式ラジオなどの防災グッズを常備しましょう。



3. 土砂災害の恐れがある危険な箇所を知る

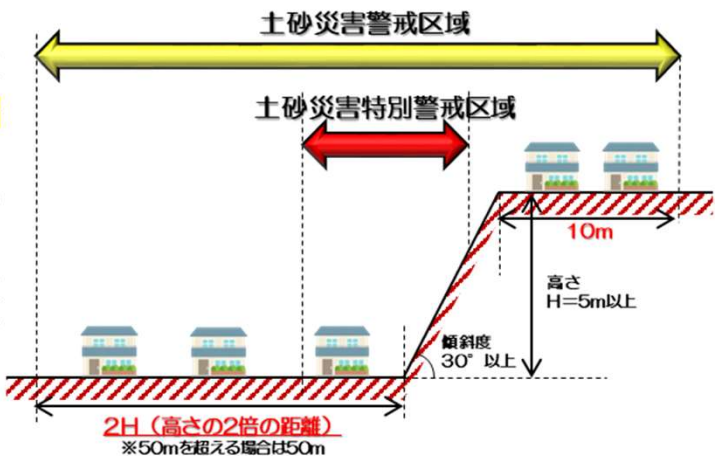
①土砂災害（特別）警戒区域について知る

崩れた土砂は斜面の高さの倍以上の距離まで届くことがあり、逃げ遅れると大変危険です。

そのため、都道府県が、高さ5m以上かつ傾斜30°以上の崖を含む危険な箇所を「**土砂災害警戒区域**」として指定しています。

また、その区域内で、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域を「**土砂災害特別警戒区域**」として指定しています。

さらに、標高差等が詳細にわかる地図上で土砂災害警戒区域等の条件に該当する可能性があると判断された箇所を「**基礎調査予定箇所**」として位置付けております。今後、千葉県が指定に向けて現地調査等を行います。調査の結果、指定から外れる場合があります。



②ハザードマップで危険な箇所を知る

土砂災害警戒区域等を記載した**千葉市土砂災害ハザードマップ**及び**千葉市地震・風水害ハザードマップ**を市ホームページで公開しています。また、今後、指定に向けた調査が予定される箇所（基礎調査予定箇所）についても市ホームページで公開しています。お住まいの近くに危険な箇所がないか確認しましょう！



令和元年10月25日の大雨による土砂災害では、危険な箇所として公表されていなかった箇所でも被害が発生しました。**土砂災害警戒区域の指定要件を満たしていなくても、土砂災害が発生する場合があります。自宅等の周辺に背丈より高い崖がある場合は十分ご注意ください。**



～マイ・タイムラインを作ってみよう～

マイ・タイムラインとは？

マイ・タイムラインは、大雨などで水害や土砂災害の発生リスクが高まっているときに、自分や家族が取るべき防災行動を時系列に整理し、まとめるものです。いざというとき慌てず行動できるよう、家族と一緒に考え、自分だけのマイ・タイムラインを作りましょう。マイ・タイムライン記入シートや作成マニュアルは、ホームページからダウンロードできます。

【QRコード】



千葉市 マイ・タイムライン

【作成例】

世帯構成：
私(夫)・妻・母(高齢者)

生活環境：
土砂災害警戒区域

STEP 1 自宅の状況を確認

あなたの住んでいる地域は？
 浸水想定区域 土砂災害警戒区域
 住んでいる場所の浸水想定深は？
 【原因() 浸水深()】

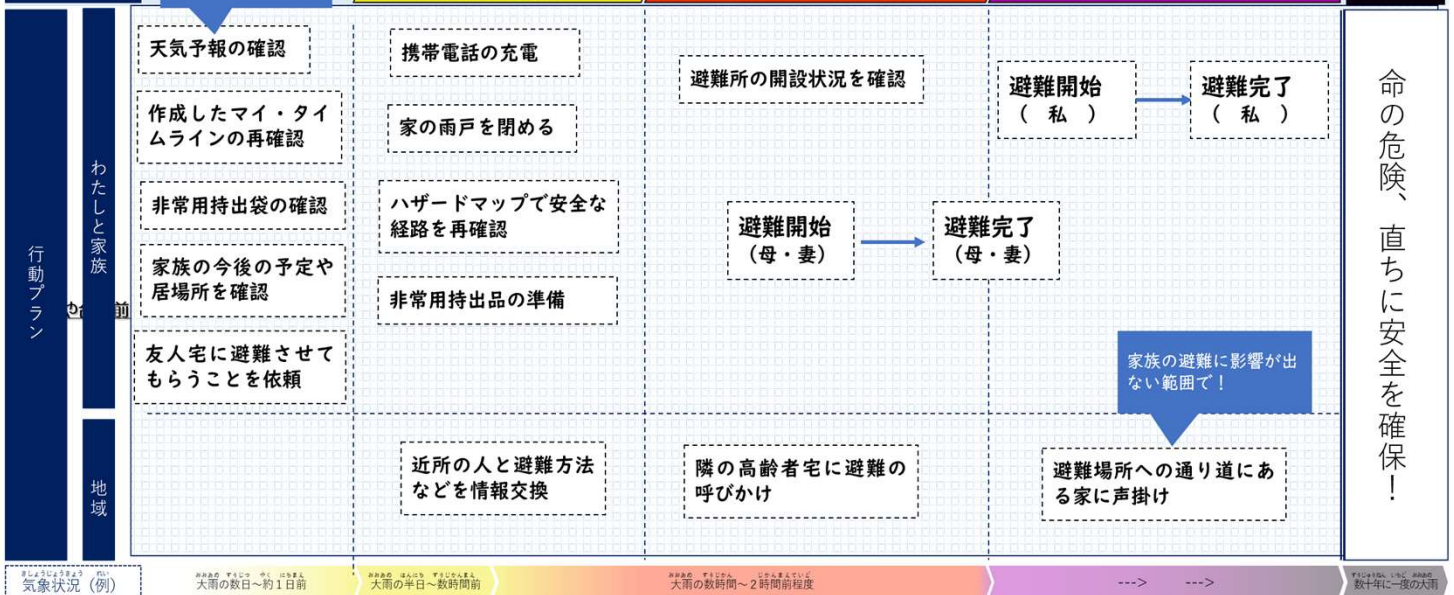
STEP 2 避難先・避難経路を決定

どこに避難する？ 避難の途中で注意する場所は？
 候補1 友人宅 【歩いて約 10分】 ⇒ 【土砂災害警戒区域は迂回】
 候補2 A中学校 【歩いて約 20分】 ⇒ 【 】

● 家族の連絡先 / 緊急連絡先

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 (友人)
 TEL △△△-△△△-△△△ (親戚)
 TEL ☆☆☆-☆☆☆-☆☆☆ (職場)
 TEL - - - ()

【警戒レベル】 取るべき行動	【レベル1】 災害への心構えを高める	【レベル2】 自主避難など注意の呼びかけ	【レベル3】 避難に時間がかかる人は危険な場所から避難！	【レベル4】 危険な場所から全員避難！	【レベル5】 災害の発生又は切迫！
避難情報等		自主避難など	高齢者等避難	避難指示	
気象警報、 災害情報等	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨注意報 / 洪水注意報	大雨警報 / 洪水警報	土砂災害警戒情報	
	テレビや気象庁のHPを確認	高潮注意報	高潮警報 / 高潮特別警報	高潮警報 / 高潮特別警報	
		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	



命の危険、直ちに安全を確保！

～ お知らせ ～

家具類の転倒・落下を防ごう

「家具転倒防止をサポートします」

市では、家具の転倒を防止するための金具などを自ら取り付けることが困難な方向けに、取付費用の一部を助成しています。

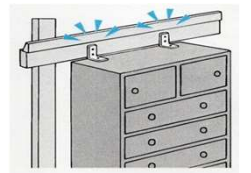
* 申請前に転倒防止金具を取り付けた場合には対象になりません。

対象 65歳以上の方、重度障害者や20歳未満の方で構成される世帯（20歳未満のみの世帯は除く）

補助額 出張料：上限5,000円

取付費用：家具などの1台あたり上限500円（5台まで）

詳しくは、**千葉市 家具転倒防止金具** ※登録事業者の一覧も掲載しています



【問い合わせ】

保健福祉センター高齢障害支援課高齢支援班 (重度障害者がいない世帯)					
中央 ☎221-2150 F 221-2602	若葉 ☎233-8558 F 233-8251	花見川 ☎275-6425 F 275-6317			
緑 ☎292-8138 F 292-8276	稲毛 ☎284-6141 F 284-6193	美浜 ☎270-3505 F 270-3281			
保健福祉センター高齢障害支援課障害支援班 (重度障害者がいる世帯)					
中央 ☎221-2152 F 221-2602	若葉 ☎233-8154 F 233-8251	花見川 ☎275-6462 F 275-6317			
緑 ☎292-8150 F 292-8276	稲毛 ☎284-6140 F 284-6193	美浜 ☎270-3154 F 270-3281			

千葉市では、災害の恐れが高まった場合に、皆さまが自らの判断で適切に避難できるよう、あらかじめ災害リスクを知っていただくようお願いしています。

千葉市地震・風水害ハザードマップ（WEB版）を使った確認方法

<使い方>

①目的地検索

住所検索ボックスに住所を入力し、目的地付近を表示

②ハザードマップ選択

風水害・地震のタブから表示したいマップを選択

③災害リスク確認

表示されたハザードマップで目的地周辺の災害リスクや避難経路等を確認



千葉市地震・風水害ハザードマップ（WEB版）の詳細は裏面

<検索方法>

【URL】

https://www.city.chiba.jp/other/jf_hazardmap/index.html

【キーワード検索】

千葉市ハザードマップ 検索

【QRコード】



市民・事業者の方へ

➤ハザードマップを確認して災害の発生に備えましょう。

【実施内容】

あらかじめ自宅等周辺の災害によるリスクや避難場所などを把握し、避難経路等を検討します。

【確認事項】

災害種別ごとの危険箇所や危険度
災害種別ごとの避難場所・避難所及び避難経路

不動産業者の方へ

➤不動産取引時における防災情報の周知に関する取り組みにご協力をお願いします。

【実施内容】

物件説明の際に、不動産取引の相手方等に対し、ハザードマップを提示し、物件の位置を説明します。

【対象となる取引】

市内における全ての不動産取引（宅地、建物の売買又は貸借）

趣旨

- ▶災害から命を守るためには、もしもの時すぐに行動できるように、あらかじめ土砂災害や洪水などの危険（＝災害リスク）を知り、避難場所・避難経路等の防災情報を確認しておくことが大変重要です。
- ▶そこで、市民の皆様等が災害リスクや防災情報を適切に把握できるように、千葉市地震・風水害ハザードマップ（WEB版）を作成しました。

確認できる主な項目

地震

- 揺れやすさ（震度）
- 液状化危険度
- 津波（浸水深）

風水害

- 洪水（浸水深）
- 内水（浸水深）
- 高潮（浸水深）

土砂災害

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 基礎調査予定箇所

避難場所・避難所など

- 指定緊急避難場所（広域避難場所、津波避難ビル含む）
- 指定避難所

主な機能・特長

自在な画面操作と住所検索機能

地図のズームイン・アウト、スクロールや住所検索により、目的地周辺を詳細に確認できます。

ハザードマップの切替・重畳

地図上でハザードマップの種類を切り替え・重ね合わせることで、目的地周辺の情報を複合的に確認できます。

印刷機能

目的地周辺をお好みの縮尺で印刷して、自分専用のハザードマップを作成できます。

位置情報の取得

位置情報の取得により、現在地が表示され、避難所等までの距離を確認できます。

外国語対応

外国語版は、英語、中国語（簡体、繁体）に対応しています。

～がけ地に関する支援事業のご案内～

急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地の崩壊を防止するため、土地所有者などの全面協力が得られる場合に、県や市が崩壊防止工事を実施しています。工事費の一部は土地所有者などの負担が必要です。

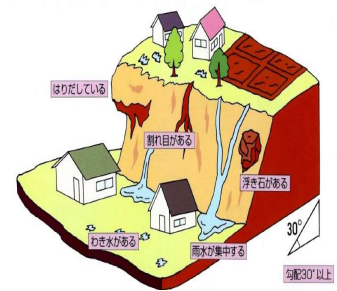
対象 次の要件を全て満たすがけ地

- ・自然がけで高さが5 m以上であること
- ・がけの勾配が30度以上であること
- ・保全すべき人家が5戸以上であること
- ・土砂法に基づく土砂災害（特別）警戒区域の指定がなされていること

詳しくは、



お問い合わせ 総合治水課 ☎043-245-5437
(FAX)043-245-5574



がけ地近接等危険住宅移転助成

がけ崩れなどの災害から住民のみなさんの安全を確保するため、危険ながけに近接する住宅を**除却し、安全な土地に移転する際の**費用の一部を助成します。

【対象となる住宅】

・土砂災害特別警戒区域内で、当該区域に指定された日より前に建てられた住宅 など

詳しくは、



移転をお考えの方は、対象条件などの確認のため、事前にご相談ください。



お問い合わせ 都市安全課：☎043-245-5810 (FAX)043-245-5627